

発電量の増減に季節は関係ないようですね。意外に冬の風の強い時期に発電量が多いのに驚きました。導入前よりもやはり光熱費が少なくなり、家計が楽になりました。

光熱費の削減額が年間約17万円となりますので、12年程度で元が取れる計算です。近所で

導入後の感想は？

平成15年2月に導入しました。環境にやさしいことと光熱費が安くなるということで、住宅用太陽光発電にはもともと興味がありました。メーカーからの詳しい説明もあり、町などの補助もあったことから導入してみました。

導入のきっかけは？

Interview

太陽光発電を導入した感想をお聞きました



大熊町 池田さん

①自然エネルギーは再生可能エネルギーであり、枯渇の心配がなく、二酸化炭素を増やさないため、環境を汚しません。

②リサイクルエネルギーは、今

まで捨てていた資源やエネルギーを有効に利用します。

③従来型エネルギーの新利用形態は、新しいアイデアや技術で、よりクリーンで効率良くエネルギーを使用します。

も評判となり、参考に見に来る人もいますよ。

新エネルギーの導入の取り組みについて

賛成ですね。環境を守っていくためには、一人ひとりが活動していかないとダメだと思います。県内には使用済みの食用油や雪、氷を使ったものなどいろいろな取り組みがあるようですが、とてもいいことだと思います。あと、省エネルギーに気を付けることも大事ですね。



●池田さんの場合の節減効果事例

導入費用

補助額

年間節減額

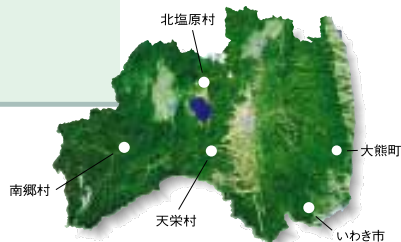
導入費用回収年数

$$\left(\text{約}270\text{万円} - \text{約}68\text{万円} \right) \div \text{約}17\text{万円} = \text{約}12\text{年間}$$

※補助額:県3万円/Kw、町5万円/Kw、新エネルギー財団9万円/Kw(平成15年度)補助額は年度により変わります。

<平成17年度 住宅用太陽光発電システム導入モデル市町村>

原町市、石川町、猪苗代町、会津高田町、新鶴村、田島町、楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町

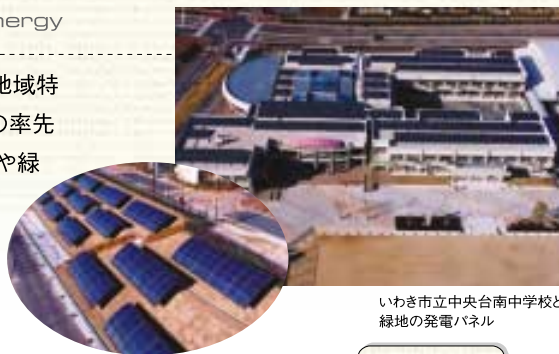


いわき市

環境共生の都市づくり

NewEnergy

環境共生の都市づくりをすすめるいわき市では、日照時間が長いという地域特性を生かして、太陽光発電の導入推進に取り組んでいます。公共施設への率先導入のほか、いわき市中央台のいわきニュータウンでは、地区内の中学校や緑地など数カ所に太陽光発電パネルを設置し、それを管理センターで集中管理する「太陽光発電集中連系システム」を整備しました。新エネルギーを活用した次世代の都市像を探る試験的な取り組みです。



いわき市立中央台南中学校と緑地の発電パネル

南郷村

NewEnergy

雪で冷やして新鮮トマト

全国的にも有名な南郷トマトは南会津地方の特産です。出荷しているJA会津みなみでは、新しい選果場の建設に合わせ、雪による予冷庫を設置しました。農産物の産地間競争が激化している現在、出荷情報の早期発信と早期出荷、鮮度の維持による高品質化が求められています。豪雪地帯という南会津の特色を生かし、雪を資源として活用した予冷は、環境にやさしく省エネにもなります。また、雪による予冷をPRすることにより、消費者に対する産地のイメージアップ効果も狙っています。



JA会津みなみのトマト選果場の雪室

